

プレスリリース

2025 年 7 月 3 日

シンガポール政府、三井化学取締役会長 淡輪 敏氏に同国への多大な貢献を称える 国家勲章「Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore)賞」 授与

1. 2025 年 7 月 3 日、三井化学取締役会長 淡輪 敏氏およびシーメンス AG 代表取締役社長兼 CEO ローランド・ブッシュ博士が、シンガポール共和国大統領ターマン・シャンムガラトナム氏より、国家勲章である Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore) 賞を授与されました。
2. Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore) 賞は、シンガポールの経済成長への多大な貢献が認められるシニアビジネスリーダーを表彰するためにシンガポール経済開発庁（EDB）が 1998 年に創設したもので、2024 年までに 51 名が受賞しています。
3. プン・チョンブーン EDB 長官は次のように祝辞を述べました。「淡輪 敏氏とローランド・ブッシュ博士のリーダーシップの下、三井化学とシーメンスはシンガポールにおける製造設備、イノベーション、人材育成に多大な投資を行い、経済、企業、そして国民に恩恵をもたらしてきました。三井化学とシーメンス両社の地域拠点事業の拡大は、シンガポールの先進製造業のエコシステムを強化し、競争力を向上させました。両社の強固なパートナーシップに感謝するとともに、受賞を心よりお祝い申し上げます。」と述べました。
4. 淡輪 敏氏は、日本を代表する化学メーカーの一つである三井化学の取締役会長です。1976 年から同社に在籍し、2014 年から 2020 年まで代表取締役社長執行役員を務めました。

5. 1966 年のシンガポール進出以来、三井化学は当地において 10 億シンガポールドル（約 1,138 億円）を超える大規模投資を、複数回にわたり実施してきました。これには、Mitsui Elastomers Singapore が独自開発した高機能エラストマー「TAFMER™」の生産能力拡大のための大規模施設拡張が含まれます。また三井化学は多用途高機能コーティング材製造企業である SDC Technologies を買収、2012 年に光学用特殊コーティング材の製造拠点として SDC Technologies Asia Pacific プラントを設立。2016 年には、粉体・液体包装に使用される高機能シーラントフィルムの原料製造拠点である Prime Evolve Singapore も稼働を開始させました。
6. 淡輪氏はさらに、同社にとって海外初の研究開発施設となった 2011 年の三井化学シンガポール R&D センターの設立を主導しました。同センターは、シンガポール科学技術研究庁（A*STAR）をはじめとする当地の研究エコシステムと緊密に連携し、先端素材の開発に注力、当地のイノベーションとサステナビリティへの取り組みを推進することで世界的研究開発活動をサポートしています。
7. 加えて、淡輪氏はシンガポールにおける人材およびリーダーシップ育成の強力な推進者でもあります。三井化学は EDB と協力し、東京工業大学（当時）修士課程進学のための奨学金をシンガポールの学生に提供しています。この取り組みを通じ、これまで 4 名の学生が奨学金を受給しています。
8. 現在、三井化学はアジア太平洋地域統括拠点、研究開発および製造拠点をシンガポールに置き、当国に深く根付いています。淡輪氏はシンガポールにおける三井化学の戦略的存在感と事業基盤の拡大に尽力し、同国の経済成長に大きく寄与されてきました。

淡輪氏受賞コメント：

「Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore) 賞を賜り、大変光栄に存じます。シンガポール政府と弊社社員一同が長年にわたり築き上げてきた友情と信頼に心から感謝申し上げます。1966 年に接着剤製造会社を設立して以来、シンガポールは

当社のアジア太平洋地域における事業拠点として機能してきました。また、エラストマープラントの拡張を含む数多くの事業展開を先導してきました。」

###

付属文書 A : 受賞者功績概要

付属文書 B: 受賞者略歴

シンガポール経済開発庁 (EDB : Singapore Economic Development Board)について

シンガポールおよびシンガポール国民に活気あるビジネス環境と良好な雇用機会をもたらす持続可能な経済成長の創出をミッションとして掲げる貿易産業省傘下の政府機関。

シンガポールのビジネス、イノベーション、人材のグローバルセンターとしての地位向上のための戦略を担い、投資促進と産業発展に携わり、国内外の国際企業のため、情報提供、パートナーマッチング、投資への政府の優遇措置活用支援を行う。

EDBに関する詳細はこちらをご覧ください : www.edb.gov.sg

メディア関係のお問い合わせはこちら

Ms Nicole Tong トン・ニコル

Manager, Brand, Marketing and Communications ブランド・マーケティング・コミュニケーション担当マネージャー

Singapore Economic Development Board シンガポール経済開発庁

電話番号: +65 6832 6609

メールアドレス: nicole_tong@edb.gov.sg

付属文書 A

淡輪 敏氏功績概要 - Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore)賞

三井化学取締役会長 淡輪 敏氏は、長年にわたりシンガポールの経済発展と化学産業の成長に多大な貢献をしてきました。

社長兼最高経営責任者（CEO）として、またその後、取締役会会長としての氏のリーダーシップの下、三井化学は当地における事業を拡大し、シンガポールとのパートナーシップを深化させてきました。同社は製造および研究開発分野に大規模な投資を行い、化学産業における世界有数の拠点としてのシンガポールの地位を高めました。これらの投資には、自動車から包装業まで多様な産業における使用により認知度の高い TAFMER™樹脂を生産する Mitsui Elastomers Singapore プラントの複数回にわたる拡張、先端製造アプリケーション向け高機能ポリマー生産のための Prime Evolve Singapore プラント設立、光学レンズ用特殊コーティング材を生産する SDC Technologies Asia Pacific プラント設立、そして同社初の海外研究開発拠点となった三井化学シンガポール R&D センターの開設が含まれます。これらの取り組みは、シンガポールの化学産業エコシステムの発展に寄与し、この産業への新規投資誘致における競争力強化につながっています。

現在、シンガポールは三井化学にとって、日本を除くアジア太平洋地域における重要な戦略的ビジネスハブとして機能し、地域戦略と事業運営の統括・実施を担っています。淡輪氏はまた、ローカル人材の育成にも注力しており、現地従業員の 80%以上をシンガポール国籍および永住者が占めています。さらに三井化学は、ローカル従業員に世界各地の事業拠点での駐在機会を提供することで貴重な国際経験を積ませており、これらは淡輪氏のリーダーシップとサポートなしには実現し得なかったことです。

来年、三井化学はシンガポール進出 60 周年を迎えます。当地における強力なプレゼンスは、今後数十年にわたる三井化学とシンガポールとのパートナーシップの発展に向けた強固な基盤となっています。

シンガポール共和国大統領は、淡輪 敏氏のシンガポールへの多大なご貢献を称え、2024 年度 Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore)賞を授与できることを心から喜ばしく思います。

ローランド・ブッシュ博士功績概要 - Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore)賞

シーメンス AG 代表取締役社長兼 CEO ローランド・ブッシュ博士は、シーメンスとシンガポールの長年にわたるパートナーシップ強化と、国家の研究・イノベーション計画推進において重要な役割を果たしてきました。

シーメンスとシンガポールの関係は 117 年におよびます。ブッシュ博士のリーダーシップのもと、戦略的イノベーション、サステナビリティ、デジタル化、先進製造業における数々の大規模投資やコラボレーションにより、両者のパートナーシップは新たな高みへと達することができました。現在、シーメンスはシンガポールにおいて、スマートインフラ、デジタル産業、モビリティ、ヘルスケアの分野で約 1,500 人名を雇用しています。

同社の近年の投資としては、産業オートメーションおよびデジタル化製品を製造するための 2 億ユーロ（約 337 億円）規模のハイテク施設があります。400 人規模のこの施設は、デジタルツインと AI の活用により、生産の加速、品質向上、資源効率の改善を実現する、この種のものでは同社にとって東南アジア初となるものです。この大規模投資は、シンガポールがシーメンスのグローバルサプライチェーンにおける重要拠点としての地位を強化するとともに、同国の先進製造業分野の発展にも貢献します。

シーメンスのデジタル技術はまた、長年にわたり、シンガポールの通勤者のための公共交通機関の近代化と高度化に貢献しています。シンガポール拠点のモビリティチームは、インダストリー4.0、AI、IoT 技術などを活用し、地域の交通インフラのデジタル化を支えるソフトウェアソリューションのローカライズおよび導入を行っています。

ブッシュ博士の CTO 任期中、シーメンスはシンガポールにて、シンガポールにおけるデジタル能力の構築および人材育成を推進する重要な拠点である Siemens Digitalization Hub を 2017 年に、Advanced Manufacturing Transformation Centre (AMTC) を 2020 年に開設しました。

ブッシュ博士のリーダーシップの下、シーメンスは、南洋理工大学およびニース・ポリテクニクをはじめとするシンガポールの公的機関や学術機関との連携を強化しました。これらの提携は、共同研究の推進および、デジタル化、AI、オートメーション、スマートインフラの分野における業界関連スキルの育成を目指すものです。シーメンスはまた、スキルズフューチャー・シンガポールと提携し、SkillsFuture Queen Bee として、シンガポールのローカル製造業者のデジタル変革の取り組みを指導しています。

リー・シェンロン上級大臣が委員長を務める研究・革新・企業評議会（RIEC）のメンバーとして、ブッシュ博士は、惜しむことなくシンガポールの国家的研究・イノベーション計画の策定に貢献をしています。人材育成、戦略的ビジョン、そして揺るぎないイノベーションへのコミットメントを特徴とするブッシュ博士のリーダーシップにより、シーメンスはシンガポールの未来経済における長期的かつ信頼できるパートナーとしての地位を確立しています。

シンガポール共和国大統領は、ローランド・ブッシュ博士のシンガポールへの多大なご貢献を称え、2024 年度 Public Service Star (Distinguished Friends of Singapore) 賞を授与できることを心から喜ばしく思います。

付属文書 B

受賞者略歴

 淡輪 敏氏 <u>三井化学取締役会長</u>	2012 年から三井化学役員を務め、2020 年より同社取締役会長。 2014 年から 2020 年まで代表取締役社長執行役員として同社を率い、任期中、他の経営陣とともに、変化の激しいビジネス環境への対応のための事業方向性を明確に示した長期経営計画「VISION 2025」を策定。 1951 年福岡県生まれ。早稲田大学卒業後、1976 年三井東圧化学（現三井化学）入社。以降、同社の複数の事業分野・管理部門において様々な指導的職務を歴任。
 ローランド・ブッシュ博士 <u>シーメンス AG 代表取締役社長兼 CEO</u>	経済の基盤を支える製造、インフラ、輸送、ヘルスケア分野に注力するグローバルテクノロジー企業シーメンスの社長兼 CEO。 テクノロジーの力により世界が直面する困難な課題を解決できると信じ、シーメンスに入社。顧客の業界変革支援、限られたリソースによるより多くの成果の実現、より持続可能な未来の構築を理念に掲げる。 シーメンスに 30 年超勤務、2021 年 2 月、同社 CEO 兼社長に就任。 ドイツのエアランゲン・ニュルンベルクにあるフリードリヒ・アレクサンダー大学にて物理学を学び、同大学で博士号を取得。フランスのグルノーブル大学でも学ぶ。